

京都有名4寺院の樹木葬



建仁寺 両足院

シンボルの銀杏の巨木や、けやきがある。埋葬は杉苔の墓苑。



大徳寺 正受院

大名竹に囲まれ紅葉やしだれ桜があり、埋葬は杉苔の墓苑。



東福寺 莊嚴院

シンボル樹木として桜、紅葉を植え、埋葬は杉苔の墓苑。



東福寺 即宗院

木橋を渡り山門の先にある4千坪をこえる境内地。小クマザサの墓苑。

～樹木葬が選ばれる理由～

- ◎自然に還ることができる
- ◎継承者がいなくてもいい
- ◎永代供養なので、無縁仏になる心配がない
- ◎希望すれば石碑に名前を刻むことができる
- ◎交通の便が良く、家族や親戚が参りやすい

※「京都の樹木葬」の場合

取材協力

「京都の樹木葬」運営事務局

京都市中京区寺町通夷川上ル久遠院前町669 サンアートビル4F
(有)カン総合計画内 <http://www.jumokusou.jp/>

☎075-257-7977

京都の樹木葬 で検索

「近年のお墓事情は大きく変化しています。少子化により継承者がいない場合や、管理が子どもに大きな負担になる場合も多く、お墓の悩みを抱える人が多くなってきました」と近藤さん。こういった背景から、埋葬方法も多様化をみせている。その中

現代社会が かかえる深刻な お墓の問題

「樹木葬を選ぶ方が増えている理由は大きく4つあります。①遺骨は埋葬でき、お参りも可能②継承者なしでも永代供養で弔ってくれる③自然葬なの

継承の必要がなく 永代供養の「樹木葬」

でも注目度が高いのは「樹木葬」。「自然に還れる」「子どもに負担がかからない」といった点が人気の理由だ。

でも注目度が高いのは「樹木葬」。「自然に還れる」「子どもに負担がかからない」といった点が人気の理由だ。

「建仁寺」「大徳寺」といった歴史のある塔頭寺院では、樹木や豊かな緑の中、遺骨は杉コケなどに覆われた区画に埋葬するというスタイル。格式があり将来的にも安心感がある。電車のアクセスが良く、町中なので行きやすく地方からでも観光を兼ねてお参りができるのも良い。契約者の85%が生前契約。元気なうちにお墓を用意する人が多い

「建仁寺」「大徳寺」といった歴史のある塔頭寺院では、樹木や豊かな緑の中、遺骨は杉コケなどに覆われた区画に埋葬するというスタイル。格式があり将来的にも安心感がある。電車のアクセスが良く、町中なので行きやすく地方からでも観光を兼ねてお参りができるのも良い。契約者の85%が生前契約。元気なうちにお墓を用意する人が多い

お墓の悩み解消・樹木葬セミナー 参加無料

講師：近藤 亮さん
日時：3/15(木)10:40～11:40
場所：千里ライフサイエンスセンター6F
豊中市新千里東町1-4-2 ※千里中央駅から徒歩1分
申込：06-6338-0640
※詳細は右ページ「生活上セミナー」をご覧ください。
現地見学会 3/17(土)、22(木)、24(土)各10時～
希望される方は直接「京都の樹木葬」へお問合せください。

いま注目を集めている「終活」とは、今までの人生を振り返り、将来をより楽しむための活動のことをいいます。今回は注目度が高くなってきた「樹木葬」についてお墓の事情に詳しい近藤亮さんにお話を伺いました。

「終活」のススメ 「樹木葬」

「人生をよりよくするための活動」



Profile

「京都の樹木葬」運営事務局
近藤 亮さん
葬送やお墓の専門家との人脈を多く持ち、「京都の樹木葬」運営事務局の案内人として、日々活動中。



が案内を務める「京都の樹木葬」運営事務局の場合、「東福寺」「建仁寺」「大徳寺」といった歴史のある塔頭寺院では、樹木や豊かな緑の中、遺骨は杉コケなどに覆われた区画に埋葬するというスタイル。格式があり将来的にも安心感がある。電車のアクセスが良く、町中なので行きやすく地方からでも観光を兼ねてお参りができるのも良い。契約者の85%が生前契約。元気なうちにお墓を用意する人が多い

お墓

残される家族のために
永代供養とこれからの「お墓」カード式納骨堂

「お墓のことで子供に負担をかけたくない」「継承者がいない」と墓じまいを考へる方にお勧めなのが、常光円満寺の永代納骨堂「舍利殿」。JR 阪急吹田駅徒歩5分とアクセスが

良く、バリアフリー構造の屋内施設の為、天候に左右されず、車いすの方も楽にお参りができると評判だ。最新のカード式納骨堂は何層でも入れて、家族のお墓として利用できるのが特徴。



参拝ブースでカードをかざすと、遺骨収納厨子が運ばれて、扉が開くと御家のお墓になる。価格は68万円(4ブース利用可)と88万円(6ブース利用可)がある。どちらも永代代金に納められる金額も含まれている。

「墓守りされる方がいなくなった際には、供養塔(吹田市文化財の宝篋印塔)か舍利殿の本尊である釈迦涅槃像の下に納骨いただけま

『永代供養とこれからのお墓』

参加無料
[日時] 3/15(木)14:10～15:10
[場所] 千里ライフサイエンスセンター6F
豊中市新千里東町1-4-2 ※千里中央駅すぐ
[申込] 06-6338-0640
※詳細は右ページ「生活上セミナー」をご覧ください。

お彼岸 春の大法要

[日時] 3/26(月)11時～
[場所] 常光円満寺



常光円満寺

足利将軍の菩提寺
高野山真言宗
(ジョウコウエンマンジ)
吹田市元町28-13
(JR 阪急吹田駅より徒歩5分)
無料駐車場25台

☎06-6381-0182
<http://www.enmanji.com>



美容と健康は毎日の食事と正しい服薬から

薬食同源 文笹川薬局 笹川悦子 和漢薬とハーブの話

第23回

冬枯れ色に染まった山を見ながらの通勤路、寒さが皮膚に痛く浸透してくる朝です。ビル入り口の植栽に下草が昨日の雪を残し、より緑色を際立たせ入る葉が目を見せます。ジャノヒゲの植え込みです。

ジャノヒゲと麦門冬

ジャノヒゲ Ophiopogon japonicus Ker-Gawler (Liliaceae) は別名「リュウノヒゲ」とも言われ、いまでも山辺の道縁に生えるユリ科の多年草で、葉は冬でも青々としています。春になると、ひそやかに小さな花を下向けにつけて、秋になると美しい実(裸出した種子)をつけます。

冬でも根もとに瑠璃色の実を見つける事ができ、

両親が子どもの頃は、この実を竹鉄砲の玉として楽しんだそうです(ただ私の周りの植栽は、薬用基原植物のものではなく、園芸用ジャノヒゲの矮性品種やジャノヒゲ属でないヤブラン属の葉や花です)。薬用にするのは根の塊根で、夏に根を掘り上げ膨らんだ部分を水で洗い、日干しにしたものが触れると、僅かに甘味を感じる淡黄色で、紡錘形の「麦門冬」という生薬になります。

代表的な処方には、辛夷清肺湯や麦門冬湯、竹茹温胆湯など数多くありますが、花粉が飛び出す今の季節には辛夷清肺湯(原典の外科正宗では十味ですが甘草を除いた)九つの薬味(辛夷、知母、百合、黄芩、山梔子、石膏、升麻、枇杷葉)と麦門冬からなる処方がある。閉、鼻炎や慢性的な鼻の症状に効果があります。凛烈な空気の中、植え込みのジャノヒゲの緑葉

は、目をこらして探さないと見逃します。ささやかな春と山辺の道でかむことが辛くなった亡父に頼まれて、地面に触れながら写真にとったツヤツヤした瑠璃色の実を思い出します。



[Mondo grass]